

～本の紹介～ 『明日も必ず夜が明ける』 I・II

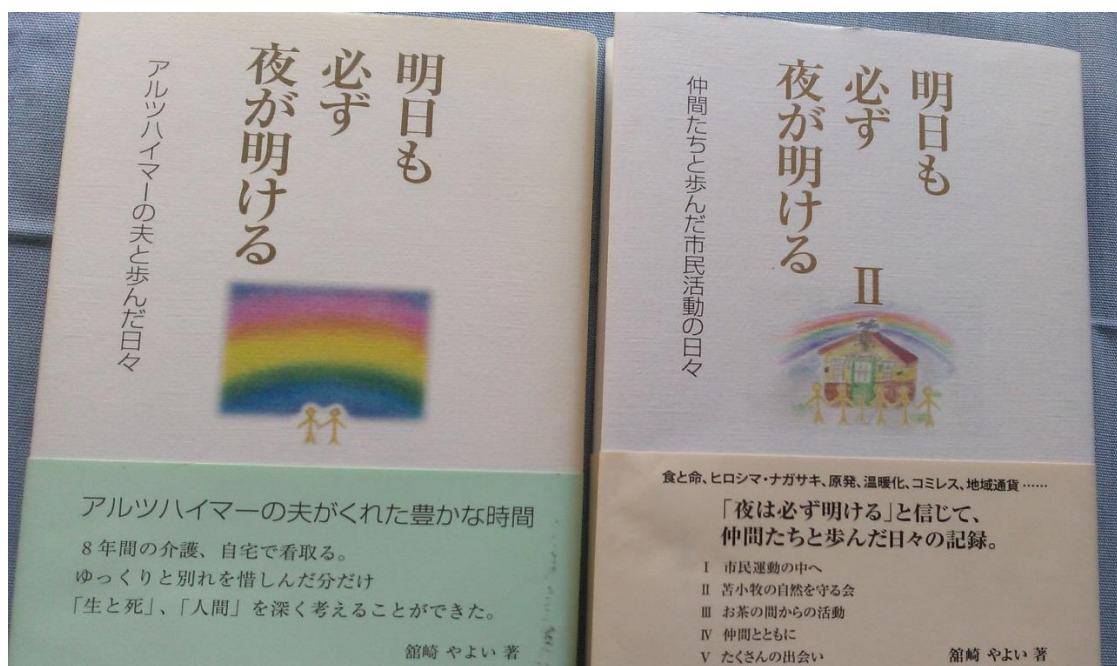
30 数年の市民活動を振り返って

北海道苫小牧市在住 館崎やよい

二階の納戸に乱雑に積み重なっていた活動記録の山を やっと崩し終えた。この2月、活動の集大成『明日も必ず夜が明ける』II仲間たちと歩んだ市民活動の日々を上梓した。パートIは2006年に発行したアルツハイマーの夫の介護記録だ。Iの方は、書かずにいられない心境だったので筆が進んだが、IIの方は、30年の山だ。思い出すだけで疲れた。それでも、完成できたのは、編集製作と協力してくれる人がいたからで、いまさらながら繋がり大切さを思い知りました。

食と命、原爆と原発、コミレス、フェアトレード等の 取り組みのほか、大きな反対運動を三度も経験してきたので内容はボリュームがある。驚かれたのは、30年の年表を書いたことです。とはいえ昨今のコロナ騒ぎになるとこれらの活動が色あせるのですから、私たちは、今とんでもない時間の中に生きてます。本のタイトルが、今の状況にぴったりだと幾人から言われ、表紙の絵に虹を描いたのも時期を得てました。

イタリアでは、バルコニーに虹の絵を掲げて、励ましあっているとニュースで見ました。私も本を通してエールを送ります。



パートI 2006年 発行

「アルツハイマーの夫と歩んだ日々」

パートII 2020年2月発行

「仲間たちと歩んだ市民活動の日々」

★入手ご希望の方は館崎さんのメール ipu.naja@topaz.plala.or.jp

または TEL&FAX 0144-34-2385 (Fax可) までご連絡ください。

NPO研修・情報センターでもパートIIのみ取り扱います。送料込みで1冊1000円です
お申し込みは メールで ticon@mui.biglobe.ne.jp です。よろしくお願ひ致します。